

ビーチサッカー日本代表

覚悟と責任

Yuki Kibune

「日本代表に自分がいることの重みを感じている」――。令和5年3月16日～26日に、タイのパタヤで開催される『AFCビーチサッカーアジアカップ タイ2023』。日本代表メンバーに、合志市在住の木船祐樹さん（アヴェルダージ熊本BS所属）が選出された。

ビーチサッカーワールドカップの予選大会であるアジアカップ。日本は、令和元年（2019年）の前回大会で優勝。アジアカップの連覇と、ワールドカップの出場権獲得が、木船さんたち日本代表メンバーの至上命題だ。「ワールドカップに連続出場しているのはブラジルと日本だけ。本当に負けられない。先輩たちが作った歴史を崩すわけにはいかない」――。

また、自らに課した使命である、『ビーチサッカーの認知度向上』にとっても、絶好の機会と捉えている。「動画でも、リアルなピッチ（試合会場）でも良いので、ビーチサッカーを観ていただくきっかけにしたい」と、意気込む。

合志市からアジア、さらに世界の舞台へ。「日本代表としての覚悟と責任が必要だと思う。自分らしさを出して、日本のために戦いたい」――。